

『元気で明るい教員でありたい』

静岡県教員採用試験合格

加藤真一さん（静岡県立浜松西高等学校 出身）

①本学科の志望理由

体育学科を知ったきっかけは、高校の先輩が体育学科に在籍していたからでした。体育学科では各運動分野で活躍する教員がおり、専門性の高い授業を受けることができると聞きました。また、文理学部は教員養成にも力を入れており、教員に就く卒業生が多くいることも大きな魅力でした。

体育学科に入学すると、保健体育科の教員免許を取得するだけでなく、スポーツ学について深く学ぶことができる環境が私にぴったりだと感じ志望しました。



②教員を志望した理由

生徒が充実した学校生活を送るためには教員の存在が不可欠です。私自身、友人関係だけでなく教員との関係がよく学校生活が充実していました。だからこそ、生徒と良い関係を築き充実した環境を提供する側になりたいと思います。

また、勉強など人に教えることに喜びを感じていたことも教員を志望した理由の1つです。

③教員になるために取り組んだこと

教員は生徒だけでなく同僚や保護者など様々な年齢の方と関わります。教員はコミュニケーション力がなければ、仕事を行うことは不可能です。だから、私は接客業のアルバイトを行い、積極的にコミュニケーションをとるよう心がけました。自分の知見が広がりとともに、コミュニケーション力を培うことができました。

また、所属サークルでは人に指示をだし、リーダーシップをとることが求められました。最初は人前に立つだけで緊張し、一人一人の顔を見て話すことができませんでした。自分の伝えたいことをどのようにすれば伝えることができるか。大人数をまとめるためにはどうすればよいか。悩みながら経験を積み、自分なりの人をまとめるための方法を見つけました。

教員として、アルバイトで培ったコミュニケーション力を生かし、教員の仕事に励みたいと思います。

④教員採用試験の対策

まず、受験する自治体の出題傾向を調べることから始めました。効率的に勉強を進めるためには必須です！調べなくては始まりません！調べることで、私は自分に合った勉強法を確立することができました。例えば、時事問題については教職雑誌の定期購読や SNS を利用するなど隙間時間を活用した勉強法を実践しました。

面接対策に関しては、教員志望者を支援する教職支援センターを大いに活用しました。教員養成に力をいれている文理学部ならではのセンターです。私は毎日のように教職支援センターに通い、面接の練習だけでなく教員を目指すうえでの悩み事などさまざまな面で助言をいただきました。

実技試験に関しては、各競技の専門者が身近にいる体育学科の強みをいかして取り組みました。授業後に先生から直接レクチャーを受け、友人と体育施設を利用し練習を行いました。

⑤理想の教員像

生徒のことを理解するためにはコミュニケーションをとることが不可欠です。そのために、話しかけやすい雰囲気づくりとして、元気に明るいことが大切なのではないでしょうか。また、生徒は身近な大人と関わって成長していきます。生徒にとって数少ない大人の模範となるよう自分の行動に責任をもって行動していきます。

⑥後輩に向けて

教員採用試験を通して、小さな積み重ねが大切だと強く感じました。私は効率の良い勉強を行うために、隙間時間を上手く使うよう心がけていました。

ただ、勉強を続ける中で辛いことは沢山あります。その時は教員になる自分を想像するなど、自分のやる気を高め勉強に取り組みました。また、困ったときは親や友人、多くの人から元気をもらいました。

最後に、教員を目指すにあたり、私は大学で経験した多くのことが生きてくると感じます。だからこそ、大学生活を大いに楽しみ、様々なことに挑戦し、より多くのことを経験してください。きっと自分の思い描いていた未来がぐっと近づいてくるでしょう。

